

選考委員会規程

公益財団法人マニー松谷医療奨学財団

公益財団法人マニー松谷医療奨学財団

選考委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、定款第39条及び奨学金給付規程に基づき、選考委員会(以下、「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(任務)

第2条 委員会は、奨学金給付規程の定めに従い、奨学生を選考する。

(選考委員)

第3条 委員会の委員(以下、「選考委員」という。)は、有識者のうちから、理事会で定め、代表理事が委嘱する。

- 2 選考委員は、3名以上7名以内とする。
- 3 選考委員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。
- 4 任期の満了前に退任した選考委員の補欠として選任された選考委員の任期は、退任した選考委員の任期の満了する時までとする。
- 5 選考委員は、任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。ただし、代表理事が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

(選考委員長)

第4条 委員会は、選考委員長(以下、「委員長」という。)1名を置くこととし、選考委員のうちから互選により選任する。

- 2 委員長は、選考委員会の会議(以下、「会議」という。)の議長となり、会議を総括する。
- 3 委員長に事故があるとき又は欠けたときは、委員長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

(会議)

第5条 会議は、必要に応じ、委員長が随時招集する。

- 2 会議を招集するときは、選考委員に対し、予め議案、日時、場所その他必要な事項を通知しなければならない。
- 3 会議は、選考委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した選考委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決

するところによる。

- 5 やむを得ない理由のため、会議に出席できない選考委員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決することができる。この場合において、5条3項及び4項の適用については、当該選考委員が会議に出席し、かつ、議決したものとみなす。
- 6 委員長は、必要あると認めるとき、会議の招集を行わず、書面をもって選考委員の意見を求めることにより、会議の議決に代えることができる。この場合においては、委員長はその結果について、各選考委員に報告しなければならない。
- 7 奨学生となることを志願する者に、選考委員と特別の利害関係を有する者がいる場合、その者を奨学生として採用する決定は、会議において、特別の利害関係を有する委員を除く委員の過半数が出席し、特別の利害関係者を有する委員を除く委員の過半数をもって決定する。なお、特別の利害関係を有する委員は決定の際は席を外すこととする。
- 8 会議は、原則として非公開とする。ただし、委員長は、相当と認める者に対して、会議への出席を求め、資料の提出、意見の開陳、説明、会議の運営の補助その他の必要な協力を求めることができる。

(議事録)

- 第6条 会議については、その経過及び結果を記録した議事録を作成する。議事録は、原則として非公開とする。
- 2 議事録には、委員長が記名捺印しなければならない。
 - 3 議事録は、会議の日から十年間、主たる事務所で保管する。

(選考基準)

- 第7条 奨学生の選考は、別に理事会で定める選考基準に基づいて行う。

(報告)

- 第8条 委員長は、選考結果を一定の期間内に文書を持って代表理事に報告するとともに、代表理事の要請があるときは、その選考理由を説明しなければならない。

(選考委員の責務)

- 第9条 選考委員は、奨学生の選考を公正に行わなければならない。
- 2 選考委員及び第5条第8項の者は、選考の過程で知りえた情報を漏えいしてはならない。

(報酬等)

- 第10条 選考委員に対し、委員会に出席した報酬として、一回の出席につき、35,000円(源泉所得税控除後の手取り金額)を支払うことができる。
- 2 前項の報酬は委員会への出席のための旅費交通費を含むものとする。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、理事会の議決を経て行う。

(細則)

第12条 この規程の実施について必要な事項は、代表理事が定める。

附則

1. この規程は、2020年3月26日から施行する。
2. この規程の変更は、2020年8月11日から施行する。(公益認定による名称変更。)